

1

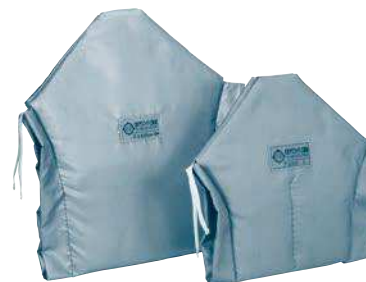
減圧弁
(蒸気用)

日本は、CO₂削減 26% を目標* としました。
フシマンは、その目標を達成するために企業の CO₂削減努力にお手伝いします。



CO₂削減 26%
2013 → 2030

* COP21 の日本提出草案



■特徴

●省エネ効果と CO₂削減に貢献

P260 型減圧弁、呼び径 80 の場合、約 90%⁽¹⁾の断熱効率と約 1,279kg⁽¹⁾の CO₂削減ができます。

注⁽¹⁾ 数値は、参考です。(表 1 参照)

●簡単取付

マジックファスナーにより、設置後や保守の際の着脱が容易です。

●火傷防止と室温上昇防止

万一の火傷災害を防ぎ、室温上昇による室内環境の悪化を防止します。



設置例

表 1 P260 型、80A における省エネ効果と CO₂削減の計算例

		年間放熱量 Q	断熱効果 ΔQ (断熱効率 η)	都市ガス節約量 V (節約費 M)	CO ₂ 削減 W
保温 カバー	なし	7,830kWh	7,024kWh (90%)	615m ³ (24,600 円)	1,279kg-CO ₂
	あり	806kWh			
計算式、条件		Q = (各表面からの 1 時間当りの放熱量) × 24 時間 × 365 日 ●計算条件 (仮定) 外気温: 20℃ 表面温度 カバーなし: 160℃ カバーあり: 37℃	$\Delta Q = 7,830 - 806$ $\eta = (7,024 \div 7,830) \times 100$	$V = 7,024 \times 3.6 (MJ/kWh) \div 41.1 (MJ/m^3)$ $M = 615 \times 40 (円/m^3)$ 41.1MJ/m ³ : 発熱量 ⁽²⁾	$W = 615 \times 2.08$ (kg-CO ₂ /m ³) 2.08kg-CO ₂ /m ³ : 排出係数 ⁽²⁾

注⁽²⁾ 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第三条の排出係数一覧表に基づく。

備考 計算結果の数値は、参考値です。蒸気圧力、燃料、運転時間等の条件によって結果が異なります。

■保温カバー仕様

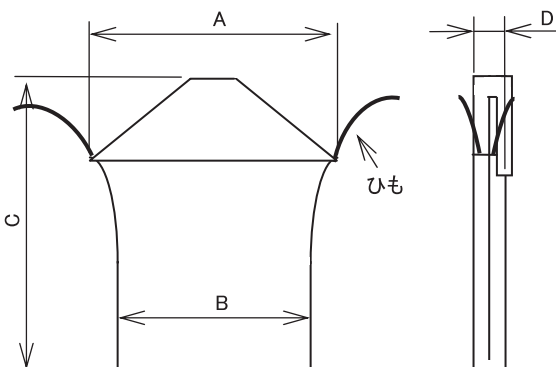
最高耐熱温度	材 料			ひ も	色
	表面素材 (外装)	断熱材	マジックテープ		
250℃	シリコン/ガラスクロス	ガラスマット	ポリエステル	ガラス繊維	グレー

■保温カバーの寸法・質量

(mm, kg)

保温カバー	A	B	C	D	質量
①	310	230	355	40	0.5
②	310	250	410	40	0.6
③	390	300	470	40	0.8
④	425	335	525	40	1.1

備考 寸法・質量は、目安です。



省エネ保温カバー（P260型専用）

■適用 P260 型

弁箱材料	フランジ規格	呼 び 径							
		15	20	25	32	40	50	65	80
鋳鉄	JIS10K	保温カバー①			保温カバー②		保温カバー③		保温カバー④
球状黒鉛鋳鉄	JIS20K								
鋳鋼	JIS10K・20K・30K ⁽³⁾								
ステンレス鋼鋳鋼	JIS10K								

注⁽³⁾ 弁箱鋳鋼の JIS10K・20K は、最高温度 250℃まで使用可能です。

備考 呼び径 100 以上も製作します。

■お取付けの際の注意事項

- 呼び径によっては、保温カバーの緩いものがありますが、保温効果に変わりはありません。
- 保温カバーを装着時、火傷に御注意ください。
- 保温カバーを触ると、手や腕の露出肌にかゆみを生じることがあります。手などの肌を保護して作業してください。

■御照会の際の御注意

保温カバーを御照会の際は、次の事項を御指定願います。

- P260 型減圧弁の呼び径、弁箱材料、フランジ規格
- P260 型減圧弁以外も製作します。

1

減圧弁
(蒸気用)